

2 議 題

(1) 副会長の選任について

あま市甚目寺老人福祉センター運営審議会委員名簿

(任期: 令和3年 4月1日 から 令和5年 3月31日 まで)

職	名	氏 名	備考
あま市社会福祉協議会	会 長	服 部 章 平	
あま市老人クラブ連合会	会 長	谷 川 輝 純	
あま市甚目寺地区 民生委員児童委員協議会	会 長	井 村 な を 子	
あ ま 市 栄 区	区 長	加 藤 繁 紀	
あ ま 市 民 病 院	管 理 者	梅 屋 崇	
あま市教育委員会	教 育 長	松 永 裕 和	

【あま市】

あ ま 市 長	村 上 浩 司
---------	---------

(事務局)

企 画 財 政 部 長	中 島 康 晴
企 画 財 政 部 次 長	山 内 進 治
人 権 推 進 課 長 兼 甚目寺老人福祉センター所長	飯 尾 新 也
人 権 推 進 課 主 幹 兼 人権ふれあいセンター所長	小 出 敏 夫
人 権 推 進 課 課 長 補 佐	深 見 訓 英
人 権 推 進 課 係 長	大 崎 有 利 子

(2) 令和3年度 あま市甚目寺老人福祉センター事業実績報告について

ア 教室事業費決算

令和3年度 予算現額 1,022,000円

令和3年度 決算額 891,650円

(円)

予算現額	支出済額	説明	不用額
報償費 990,000	865,000	(内訳)	125,000
		ペンを愉しむ 90,000	
		書を愉しむ 90,000	
		押し花教室 90,000	
		和紙ちぎり絵教室 90,000	
		俳句教室 104,000	
		歌謡教室 221,000	
		写真教室 90,000	
		高齢者健康体操教室 90,000	
需用費 20,000	19,890	(内訳)	110
		教室用消耗品費 19,890	
役務費 12,000	6,760	(内訳)	5,240
		教室案内郵送料 6,760	
計 1,022,000	891,650		130,350

イ 実施回数と利用人数

令和3年度 : 4,914名

令和2年度 : 3,179名

開館日数 : 210日

開館日数 : 152日

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、令和3年5月12日から5月31日、8月30日から9月26日まで休館

(ア) 教室事業

内 容	令和3年度				令和2年度			
	定員	申込者数	実施回数	延人数	定員	申込者数	実施回数	延人数
ペンを愉しむ	15名	19名	9回	131名	15名	24名	4回	84名
書を愉しむ	20名	18名	9回	134名	20名	22名	4回	64名
押し花教室	10名	6名	9回	25名	10名	9名	5回	18名
和紙ちぎり絵教室	20名	10名	9回	65名	20名	12名	4回	32名
俳句教室	12名	11名	8回	68名	12名	13名	5回	58名
歌謡教室A	24名	24名	17回	301名	25名	19名	8回	124名
歌謡教室B	令和2年度まで				25名	11名	8回	41名
写真教室	24名	14名	9回	89名	令和3年度新教室			
高齢者健康体操教室	20名	15名	18回	213名	20名	18名	9回	105名
計		117名	88回	1,026名		128名	47回	526名

○教室受講者

内 容	令和3年度	令和2年度
延人数	117名	128名
実人数	81名	92名

(イ) 浴場運営・機能回復訓練室他利用状況

内 容	令和3年度		令和2年度	
	運営回数	延人数	運営回数	延人数
浴場運営(月・水・金)	123回	3,757名	86回	2,543名
機能訓練室他		77名		84名
計		3,834名		2,627名

(ウ) 図書閲覧

内 容	令和3年度	令和2年度
利用人数	7名	6名
貸出冊数	33冊	10冊
蔵書数	429冊	421冊

(エ) 施設利用状況

内 容	令和3年度		令和2年度	
	実施回数	延人数	実施回数	延人数
会議室の利用許可	3回	36名	1回	12名

(オ) その他の事業

内 容	令和3年度		令和2年度	
	実施回数	延人数	実施回数	延人数
避難訓練	2回	11名	2回	8名

(3) 令和4年度 あま市甚目寺老人福祉センター事業計画(案)について

ア 事業の基本方針

あま市は、「老人憩の家」を始めとする老人福祉施設が充実しているが、その中でも「あま市甚目寺老人福祉センター」は、憩いの場を提供するだけでなく、開設当初より事業の要として、老人の教養文化の向上に携わってきた。

高齢化社会を迎えた近年、老人の学習意欲は高まる一方である。あま市甚目寺老人福祉センターでは、そうした要望に応えるべく、活動の場、発表の場を提供し、健康で明るい長寿社会の実現に向けて、事業の展開を図る。

(ア) 集いの教室

老人が、手軽に楽しむことのできる教室を開講する。

和紙ちぎり絵教室をやめて、新たに絵手紙教室を開講する。

開講教室	定員	回数
ペンを愉しむ	15名	10回開講
書を愉しむ	20名	10回開講
押し花教室	10名	10回開講
絵手紙教室	10名	10回開講
俳句教室	12名	10回開講
歌謡教室	24名	20回開講
高齢者健康体操教室	20名	20回開講
写真教室	24名	10回開講

イ 教室事業費予算

令和4年度 予算額

1,022,000円

(円)

	本年度	前年度	比較	説明	
報償費	990,000	990,000	0	(内訳)	
				ペンを愉しむ	100,000
				書を愉しむ	100,000
				押し花教室	100,000
				絵手紙教室	100,000
				俳句教室	130,000
				歌謡教室	260,000
				高齢者健康体操教室	100,000
				写真教室	100,000
需用費	20,000	20,000	0	(内訳)	
				教室用消耗品費	20,000
役務費	12,000	12,000	0	(内訳)	
				教室案内郵送料	12,000
計	1,022,000	1,022,000	0		